



SHIMANE INFORMATION INDUSTRIAL ASSOCIATION

しまね情報産協

2006.1 第29号

社団法人 島根県情報産業協会



小正月：松江市美保関町

CONTENTS

2	中国経済産業局長 年頭所感
3	会長 新年のご挨拶
4~5	講演会開催
6	「しまねIT大賞2005」表彰式
6	親睦ゴルフコンペ開催
7	会員名簿
8	新入会員社紹介



年頭所感

中国経済産業局
局長 奥村 和夫

新年明けましておめでとうございます。

中国地域経済の動向は、全体としては緩やかな回復を続けておりますが、依然として、業種、企業規模、地域におけるばらつきや、原油価格上昇の影響もあり、引き続き注意が必要です。

また、中長期的に見ますと、人口の減少や少子高齢化、世界規模の競争激化、エネルギー・環境制約の高まりなど大きな構造変化に直面しています。

しかし、一方でこのような困難な課題は、これに果敢に挑戦していくことにより新たな発展のためのチャンスを生み出します。幸い当地域には、伝統に培われた優れた技術や産業の特性、研究機関のポテンシャル、集客資源等のリソースが多く賦存しており、このような状況を「天の時」「地の利」と捉え、当局といたしましても、次のような取り組みを戦略的に実施してまいりたいと考えています。

一つ目は、次世代を担う産業や新事業の創出・育成です。グローバルな競争の中で経済を活性化していくためには、優れた技術等を持つ企業を多く輩出することが重要です。このため、引き続き企業間、産学間のネットワークの強化や企業における技術開発、事業化等を応援するとともに、他省庁や地方自治体等のクラスターの活動とも有機的に連携し、最終的には世界市場をも視野に入れた産業群が内発的に生まれる仕組みが地域に構築されるよう目指してまいります。

二つ目は、地域の基幹産業の強化です。鉄鋼、化学、自動車等の基幹産業は、国際的競争の激化、熟練従業員の高齢化、安全・安定操業の強化への対応、エネルギー環境問題等多くの課題に直面しています。このため、技術開発やプロセスの合理化等の企業努力、産業界、大学・高専等と一体となった技術の伝承・人材の育成等に対し可能な限り協力するとともに、新たに情報家電、燃料電池等今後の先端産業の発展に不可欠な「サポーター産業」の強化に向けて、研究開発に係る支援等総合的施策を講じます。

三つ目は、地域のサービス産業等の育成です。当地域でも近時各地で中心市街地の疲弊が進む一方、特色のある地点では大変な賑わいがみられます。また、地域の産業を観光資源として活用するいわゆる「産業観光」の動きも活発化しており、今後は、魅力に富み、賑わいと潤いのある場が地域全体に広がるよう、戦略的な商業対策を進めるとともに、集客交流等の新たなサービス産業を強力に育成してまいります。

四つ目は、エネルギー・環境と調和した循環型社会の形成です。エネルギーや資源多消費型産業を多く抱える当地域としては、特に地球温暖化対策や循環型社会の形成等に積極的に取り組んでいくことが重要です。

具体的には、産業部門の省エネはもちろんのこと、民生・運輸部門の省エネを進めるとともに、風力、太陽光、バイオマス等の導入、水素・燃料電池社会に係る技術開発等新エネ対策に注力し、さらに循環型企業の育成も図りながら総合的な省資源・リサイクル関連施策を展開してまいります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



新年のご挨拶

(社)島根県情報産業協会

会長 多久和 厚

新年を迎え、会員の皆様におかれましては
いよいよご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年日本経済はバブル崩壊後の長い空白の期間を脱し株価16,000円台に回復するまでになり明るい兆しを感じる年でした。景気の先行きについても、企業部門の好調さが家計部門へ波及しており、今年は国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれています。情報部門においても政府が進めるe-Japan計画が2005年度の目標を達成する見通しとなっており、日本全体の情報産業を取り巻く環境は右肩上がりと言えるのではないのでしょうか。

翻って、地方の経済に視点を移してみますと国の財政難によって公共事業に支えられてきた地方のビジネスモデルが崩壊した年となり、ストローで中央に吸い取られたかのように景況感が感じられず危機感が募っています。情報産業においては国が進める高速な通信インフラ整備によって都市部に情報が集中し少数の勝ち組と多数の負け組を生み出したことは皮肉な出来事でした。

しかし、情報産業はピラミッド構造の自動車産業などと違い膨大な設備も不要なことから地方であっても、都市部と同じ土俵で勝負できるという可能性が広がった事も事実です。このことは情報産業が第三次産業ではなく第四次産業と言われはじめていることから分かります。地味ながらも地方において雇用を増大させており、島根県にとって外貨を稼ぐことの出来る新産業として成長が期待されています。

会員企業と韓国IT企業の合弁会社が松江に立地されたことも情報産業の新しい息吹を感じます。都市部のマネをするのではなく、地方の事情を生かした遠隔医療や授業、生涯学習、高齢者福祉、災害対策、観光などのシステムの開発とデジタルコンテンツの制作にもチャンスがあります。また、今年は山陰でもデジタルテレビ放送が開始されますので、放送と通信をどのように融合され新しい価値を生み出すのか問われる年でもあります。

島根県の情報産業協会に加盟していただいている企業は、ソフトウェアの開発会社（受託開発とそれに伴うネットワーク構築と運用保守、ソフトウェアパッケージ開発）ISP事業者、通信事業者、放送事業者と幅広く総合力で勝負ができます。これからも会員企業相互の交流を図りながら、もてる技術をお互いに活用できる協会づくりをして参る所存ですので皆様の積極的なご参加とご協力をお願いする次第です。

最後になりましたが、本年が皆様にとって益々のご発展の年となりますようご祈念申し上げます。

講演演会

『放送と通信の融合は地域の生活に何をもたらすか』

日時 平成17年11月26日(土)
13:30~15:45
会場 テクノアークしまね 大会議室
第1部 放送と通信の融合について
月刊「ニューメディア」発行人 天野 昭
第2部 ユビキタスネット社会の
実現にむけて
中国総合通信局長 岡山 淳

■主催 社団法人島根県情報産業協会
■共催 島根県
■後援 島根県ケーブルテレビ協議会
島根県電機商業組合



講演要旨

「放送と通信の融合について」

月刊「ニューメディア」発行人 天野 昭



デジタル技術はめざましく進歩している。例えば映画では「4Kピュアシネマ」と言う4096×2000（800万画素）の映画が実用になっている。35ミリフィルムをはるかに凌ぐ性能でフィルムと違い反復使用が可能という。

7月29日開催の情報通信審議会では、2011年7月にアナログ放送を終了するために地上波デジタル放送の電波を直接受信するほかに、「光ケーブル網によるインターネット方式による再送信」「通信衛星による再送信」の案が出された。これについてCATV業界からの反論もあるが、これを拒絶することなく県内のネットワークが連携して、デジタル放送に取り組むことが大切と思われる。

これからは、CATV事業者が単独では勝ち残れないのではないかと。デジタル放送は多くの視聴者に受け入れられており、連携することについては県民にも受け入れられると思う。

中国総合通信局をあげて地デジ普及に全力尽くす

中国総合通信局長 岡山 淳

中国総合通信局が取り組んでいる地上放送のデジタル化やICT（情報通信技術）の活用推進など、管内における情報通信分野のトピックをいくつか紹介したい。

地デジ放送開始まであと1年

中国地方の地上デジタル放送は、広島、鳥取、島根及び山口県については2006年10月、岡山県は同年12月開始に向けて準備を進めており、去る7月29日にはNHK及び民放13社から免許申請が提出された。（近く予備免許交付の見込み。）

電波銀座と呼ばれる瀬戸内海を挟む地域を中心



とするアナログ周波数変更対策が大きな課題であった。中国地方の対象世帯数は当初見込み約50万で、全国の対象世帯数426万世帯の1割を超える大きな作業量であるが、2004年4月に変更対策を開始して以来、2005年9月までに71地域の対策に着手し、約45万世帯の対策

を終えた。

現在、四国側で推定16万世帯の視聴者を擁し、中国側への影響も大きい香川県西讃岐局の作業中で、最後の大きな山を迎えている。

放送開始1年前に当たり、この10月には各エリアで「デジタル推進大使」の任命などのイベントを開催した。今後、NHK・民放の放送事業者とともにさまざまな周知活動を強化していくが、視聴者に地上デジタル放送対応テレビを用意していただくことが大前提であるので、メーカーや販売店さらには携帯電話事業者等との連携も図っていく。

複数チャンネルでの放送、データ放送、インターネットと組み合わせた双方向機能、携帯端末による受信等デジタル放送ならではの機能について、どのような新たなビジネスチャンスを見出せるかが、デジタル化投資を意味あるものとする上での大きな鍵となる。2011年のアナログ放送終了に向けたデジタル中継局整備等のための体力づくりのためにも放送事業者には大いに知恵を絞っていただきたいところであるが、ユーザーあるいはスポンサーとしての経済界はじめ地元各界に広く地上デジタル放送に対する関心を持っていただくことが、大事な出発点になろう。そのため、中国管内の関連工場を表示した地図を作成し、2010年に200兆円との試算のある経済効果についても紹介させていただき、また自治体には身近な行政情報の提供・申請等電子自治体の窓口、輻輳のない緊急情報の伝達手段等としての有用性を強調させていただいている。

BBネットワークの整備・促進

市町村合併の進展もあり、市町村別で管内145市町村中（2005年3月末現在）140市町村（96.6%）でブロードバンドサービスが提供されている。しかし、サービス提供中とされる市町村内でも山間地、島嶼部など人口集積度が低い地域への提供は進んでおらず、いわゆるデジタル・ディバイドが顕在化している。このような地域において、比較的安価に整備可能な無線アクセスシステムを活用したブロード環境構築の期待が高まっており、このため中国総合通信局では「中山間地域におけるワイヤレスブロードバンド環境構築の在り方に関する調査検討会」を7月19日に立ち上げ、2006年3月末まで、最適なシステム構成の確立に向けた試験・検討を行うこととしている。

地域経済活性化への貢献

中国地方の経済発展、地域活性化のためには、

今後の成長が期待されるICT分野における新たなビジネスシーズや新規事業の創出等が不可欠となっており、中国総合通信局では、ICT分野でのベンチャー企業支援や研究開発の推進などを通じての地域経済活性化への貢献を、新たに大きなテーマとして掲げている。

そのため、関係部課長で構成する「情報通信連携推進ユニット」を結成し、ICTベンチャー企業等に対する支援施策や研究開発推進施策、地域産業活性化のためのICT利用促進施策等について、産・学・民・官の連携強化を図りながら、総合的・一体的な推進を図ることとした。

総合通信局は、従来、例えば県においても、もっぱら情報インフラ整備を担当する情報政策部門とのつきあいに限られていたが、産業振興を担当する商工部門や関連外郭団体、商工会議所やいわゆるインキュベーション施設、大学の連携担当部門等拠点を広げる努力をしている。そのため、既に地域産業振興で大きな実績を有する経済産業局との連携も図っているところである。

「電監」お得意の電子タグの普及推進

ICT利用促進ということでは、かつて「電波監理局」と称した総合通信局にとっての得意分野である電波利用について、電子タグシステムの例を紹介させていただく。

中国総合通信局では、2004年度、中国地域に特色のある鮮魚分野とアパレル分野について、「電子タグ（RFID）の高度利活用に関する調査検討会」を開催し、流通管理においてバーコード等による現在の業務と電子タグを活用した場合の比較検証をする試験及び電子タグの伝搬特性、技術的諸元等を検証する実証実験を実施した。

その結果、広島県福山市に本社を置く業界1位の「洋服の青山」の協力を得たアパレルでは、電子タグ導入により棚卸に3～5倍の効率アップが見込めること、在庫精度を大幅に上げたこと、また、鮮魚についても水分を含む対象にも電子タグが支障なく利用できることなど、今後の普及促進に向け貴重なデータが得られた。

この成果をベースに、電子タグ利活用による地域産業の発展、地域発の電子タグ利活用システムの展開を図っていく。今後とも、このように社会的、経済的に広がりのあるテーマの検討・実証を通じ、地域における総合通信局の存在感を増していければと考えている。

（月刊ニューメディア12月号より転載）

Made in Shimane IT Grand Prize

しまねIT大賞2005

表彰式

平成17年11月26日(土) テクノアークしまね
大会議室において、「しまねIT大賞」表彰式が
行われました。

受賞者と作品名は下記の通りです。

IT
アイデア
部門

大賞 チーム出雲 / 出雲市
「IN FARM」
インターネット上で、本物の耕地を使い、本物の農業を思い通りに営むことができるシステム。

準大賞 松浦愛美さん 福島美菜さん
光野達朗さん 高橋朋之さん
竹内勇樹さん
/ 松江高専情報工学科3年

「憧れママの必需品」
入力の手間を省き、誰でも簡単に使える家計簿ソフトと、ネットワークを使用して調理支援する機能を持った、家事支援システム。

奨励賞 邑南町観光協会 瑞穂支部
/ 邑南町
「みずほスタイル」
特産品を中心とした地域情報をWebサイト・ブログ・メルマガを駆使して全国に発信。地域の振興と商業の活性化・外貨獲得を目指す。

奨励賞 もふっこ倶楽部 / 出雲市
「指、着すカメラ」
web上で、世界中の衣服やアクセサリーを、デジカメで撮った自分の姿に着せることができるシステム。買うこともできる。

受賞作品は、(社)島根県情報産業協会のホームページでご覧下さい。



ブロードバンド
部門

準大賞 たんぽぽ / 松江市
「たんぽぽ、空へ」
ふるさと島根を愛する「ぽぽ」が都会生活を経験し、ふるさとの良さを実感して島根に帰って来るストーリー。

準大賞 Will's / 松江市
「郷愁」
車で通った通学路。黄金色に輝いていた田んぼ。日が暮れるまで遊んだ小川。一つ一つどれを取っても懐かしさがこみ上げて来る。

審査員特別賞 (有) オフィス・サム / 松江市
「ITでU・Iターン」
都会の通勤ラッシュに疲れた男性がふっと見た広告からU・Iターンを実現する。ITを利用したファンタジーストーリー。

第6回

親睦ゴルフコンペ開催



平成17年度秋期懇親ゴルフ会開催

島根県情報産業協会懇親ゴルフ会が10月22日(土) 玉造温泉カントリークラブで12社、16名参加のもと行われました。当日はあいにくの雨でしたが、元気にスタート。わきあいあいの中、好プレー続出、おおいに懇親を深めました。

なお成績は次の通りです。

- 優勝 足立 憲司様 (株)ミック
- 2位 黒田 高史様 (株)テクノプロジェクト
- 3位 田辺 晴幸様 松土建設株

社団法人島根県情報産業協会 会員名簿

2006.01.01 現在

会 社 名	協会届出代表者	連絡担当者	住 所	ビル名等	電 話
〔正会員〕					
(株)アイテック	代表取締役 宮川 則男	山田 幸子	松江市西川津町4210		0852-24-5220
(有)アダム	代表取締役 松浦 誠	藤田 裕美	松江市浜佐田町793-2		0852-36-6487
アバンセ情報システム(有)	代表取締役 福岡 英	福岡 英	松江市上乃木4丁目32番1-204 大野ビル2F		0852-26-3255
出雲ケーブルビジョン(株)	代表取締役 今岡余一良	花籠 良明	出雲市渡橋町228-1		0853-21-9811
(有)永和グループ・エイワシステム	代表取締役 永瀬 寛夫	安達 啓二	松江市上乃木6丁目4番55号		0852-21-9817
(株)エステック	代表取締役社長 中筋 雄三	山本 栄一	出雲市白枝町607-6		0853-22-8140
㈱エヌ・ティ・ティ・アソシエーツ・エンジニアリング 松江支店	島根支店長 中川 通夫	藤原 有	松江市東朝日町102		0852-25-8000
㈱エネルギー・コミュニケーションズ島根支店	島根支店長 曾田 宏	曾田 宏	松江市母衣町115番地 中国電力島根支社別館2F		0852-22-9881
(株)オネスト	代表取締役社長 石碓 修二	佐藤 明正	松江市上乃木4丁目23番50号		0852-31-8835
協和通信工業(株)	常務取締役 林 恒人	武田 泉	松江市東本町5丁目40番地		0852-23-8650
ごうぎんシステムサービス(株)	代表取締役社長 林 悦夫	尼ヶ崎幹夫	松江市袖師町6番10号		0852-32-7680
小松電機産業(株)	代表取締役 小松 昭夫	田辺 勉	松江市乃木福富町735-188 湖南テクノパーク内		050-3161-2490
(株)コンピュータ・コンサルタント	代表取締役 杉本 博	杉本 博	浜田市朝日町70番地5		0855-23-5214
山陰ケーブルビジョン(株)	代表取締役社長 石原 恵行	進藤 正英	松江市学園1丁目2番27号		0852-23-2522
山陰中央テレビジョン放送(株)	代表取締役 宇田 哲	宇田 哲	松江市西川津町721番地		0852-23-3434
(株)システム工房エム	代表取締役 持田 朝子	持田 朝子	松江市西津田3丁目2-3		0852-23-8590
(株)システムデザイン・アクティ	代表取締役 石本 光史	石本 光史	松江市浜乃木7丁目9番7号		0852-31-1670
(株)島根CSK	代表取締役社長 河村 忠博	山内 純治	松江市御手船場町553-6 松江駅前エストビル7F		0852-60-6930
(株)島根情報処理センター	代表取締役副会長 今岡 敏	今岡 敏	出雲市今市町321-3		0853-21-4674
島根電工(株)	代表取締役社長 陶山 秀樹	久葉 靖彦	松江市東本町5丁目46番地2		0852-26-2833
セコム山陰(株)	代表取締役社長 吉岡健二郎	長谷川 弘	松江市北陵町34番地		0852-23-6000
(株)谷口印刷	代表取締役 谷口 博則	景山 香子	松江市東長江町902番59		0852-36-5888
(有)ティーエム二十一	代表取締役 宮崎 照	宮崎 雅子	松江市北陵町52-2 ゆめっくす北陵14号室		0852-60-6810
(株)テクノプロジェクト	代表取締役社長 黒田 高史	広沢 誓一	松江市学園南2丁目10番14号 タイムプラザビル		0852-32-1140
(株)日本ハイソフト	代表取締役 杉原 悟	杉原 由利	出雲市芦渡町695-1		0853-23-0098
(株)ネットワーク応用通信研究所	代表取締役 井上 浩	瀬崎 愛美	松江市学園南2丁目12番5号 HOYOパークサイドビル2F		0852-28-9280
(株)浜田コンピュータシステム	代表取締役 安達 俊平	安達 俊平	浜田市下府町327-85		0855-22-2020
パストラルコンピュータシステム(株)	代表取締役 斎藤昭太郎	佐々木千代子	浜田市相生町3816		0855-22-5001
(有)ヒューマンネット	代表取締役社長 本田 晴男	田中 貴信	松江市南田町130-1 フォートビル2F		0852-31-2066
プロジェクトゆうあい	理 事 長 三輪 利春	三輪 利春	松江市天神町132		0852-32-8645
(株)マイメディア	代表取締役社長 秀浦 実晴	水津 弘子	益田市下本郷町56番地1		0856-22-4175
(株)マース	代表取締役 岡田多加秀	岡田多加秀	松江市北陵町1番地		0852-20-2577
(株)マツケイ	代表取締役 宮廻 弘道	藤原 功己	松江市乃木福富町735-211 湖南テクノパーク内		0852-32-1616
(株)松江情報センター	専務取締役 小柳 榛二	澤端 由佳	松江市母衣町180番地20		0852-22-8811
(株)ミック	代表取締役社長 宮脇 和秀	御輿 文雄	松江市学園南2丁目10番14号 タイムプラザビル		0852-27-0329
(株)メディアトーク	代表取締役 目次 真司	目次 真司	松江市北陵町47番地		0852-31-7347
和幸情報システム(株)	代表取締役 山下 裕國	三代 雅之	松江市伊勢宮町560番地		0852-24-4471
(株)ワコムアイティ	代表取締役 多久和 厚	今岡 克己	松江市北陵町43番地		0852-20-7200
(正会員38社)					
〔賛助会員〕					
出雲コンピュータ専門学校	校 長 青木 充之	石川 知幸	簸川郡斐川町大字富村1000-8		0853-72-2500
(株)NTTドコモ中国 島根支店	支 店 長 坪井 正紀	梶谷 達也	松江市東朝日町88-1		0852-25-9501
(株)ケイズ松江支店	支 店 長 田丸 俊之	田丸 俊之	松江市東津田町堂の前1041-1		0852-24-8194
(株)山陰合同銀行	システム部長 長嶺 政典	川上 眞	松江市魚町10		0852-55-1000
(株)島根銀行	常務取締役 生間 善造	岩成 泰男	松江市東本町2丁目35		0852-24-1237
西日本電信電話(株) 島根支店	支 店 長 須山 厚司	渡辺 誠一	松江市東朝日町102		0852-22-8401
日本電気(株) 山陰支店	支 店 長 飯田 典男	飯田 典男	松江市朝日町477番地17 明治生命松江駅前ビル		0852-24-4115
㈱日立情報システムズ 中国支社 山陰営業所	営 業 所 長 河野 亮次	河野 亮次	松江市御手船場町伊勢宮551 ニッセイ松江ビル9F		0852-24-1021
(株)日立製作所 中国支社 山陰支店	情報システムグループ代理 景山 雅文	新井 浩二	松江市朝日町498-6		0852-26-7366
富士通(株) 島根支店	支 店 長 村上 裕司	村上 裕司	松江市学園南2丁目10番14号 タイムプラザビル		0852-24-6624
松江情報ビジネスカレッジ	校 長 植田 恵孝	坪内 浩一	松江市東朝日町75-12		0852-26-8000
(賛助会員11社)					

理：理事 監：監事

新入会員社紹介

有限会社ヒューマンネット

〒690-0884 島根県松江市南田町130-1 フォートビル2F
 代表取締役社長 本田 晴男
 TEL 0852-31-2066 FAX 0852-31-2075



HUMAN NETWORK CREATION

ネットワーク全盛の時代の潮流を支えるコンピュータがどれほど進歩を遂げても、所詮は通信をサポートする道具に過ぎない。機械と機械のネットワークより、まず使う人と人とのネットワークを。

そんな気持ちを合言葉に、ソフトウェアの開発、人材派遣、インターネット関連事業、パソコン教室を柱とした事業を展開しています。



有限会社ティーエム二十一

〒690-0816 島根県松江市北陵町52-2
 ソフトビジネスパーク島根 ゆめつくす北陵14号
 代表取締役 宮崎 照
 TEL 0852-60-6810 FAX 0852-60-6811

～ネットで人の和を広げたい～ わたしたちがお手伝いします。



CMS (ホームページ自動作成システム) WebPage21 (登録商標) やネット通販システムなどの各種Webアプリケーションシステムの開発・ASP事業からホームページの企画制作、サーバーレンタル、ドメインサービスまで…

当社では、インターネットに関するあらゆるニーズに社内一貫体制でお応えいたします。

株式会社マース

〒690-0816 島根県松江市北陵町1
 代表取締役 岡田多加秀
 TEL 0852-20-2577 FAX 0852-20-2375



株式会社マースでは、テレビCMや番組、インターネットコンテンツ等を制作しています。特に、人体の動きを徹底的に分析する三次元動作解析という方法によって、HOW TOコンテンツや、スポーツシューズメーカーのプロモーションビデオ等の制作があります。今後は、介護関連のコンテンツや開発協力にも大きな市場を感じています。

第三、第四分節

「胴体起こし型」の手足の3次元速度変化